

感染症委員会報告

感染症委員会 委員長 渡邊 徹

令和3年11月10日に第16回感染症委員会を開催し以下について討議した。

待機体制・感染予防対策

10月以降、都内陽性者数の大幅な減少に伴い、軽症者宿泊療養施設・患者搬送救急車消毒依頼は減少し、特に救急車に至ってはピーク時に1日60台を超えたものが10月には1日に1台あるかないかにまで減少した。これまで緊急の要請に備えて1晩に3～4社待機していたが、東京都・東京消防庁・当協会との3者協定の条件である多摩1社、23区1社計2社に調整するものとした。このまま小康を得てくれば長きに渡った待機生活から解放されるかも知れない。

また、PPE使用方法について、「全身を覆うつなぎ服やシューズカバーの使用は必須ではない」「接触感染より飛沫感染のリスクが優位であり、環境表面の消毒についても大規模な

全域消毒は必ずしも必要でない」との知見が国立感染研等から発出された。これを受けて感染症委員会としては、情報としてこれらの通知を示したうえで衛生的な装備の統一を図り、感染予防対策に万全を期すことを目的とし、マニュアルのグレードダウンは実施せず、感染症予防衛生隊業務としては現行マニュアルを維持することを決定し理事会承認を受けて隊員各社に発信した。

ポストコロナウイルス

委員会はずべてのエネルギーを新型コロナウイルス対応に注力し他の問題を置き去りにした。このためポストコロナウイルスの予防衛生隊の在り方が問題となった。

まず、研修会について、これまで東京協会・日本協会主催研修会の2つの受講を責任者の人的資格要件としてきたが、東京協会主催の研修会1回の受講でよしとする変更を検討した。

2021年はコロナ対応チーム増強のため軽症者宿泊療養施設で2回のOJTを受講することで研修終了と見做し数社にご参加頂いた。この方々は「感染症総論」を受講されておらずポストコロナにあってもご参加頂けるとすれば基礎である「感染症

都内陽性者数と消毒出動回数

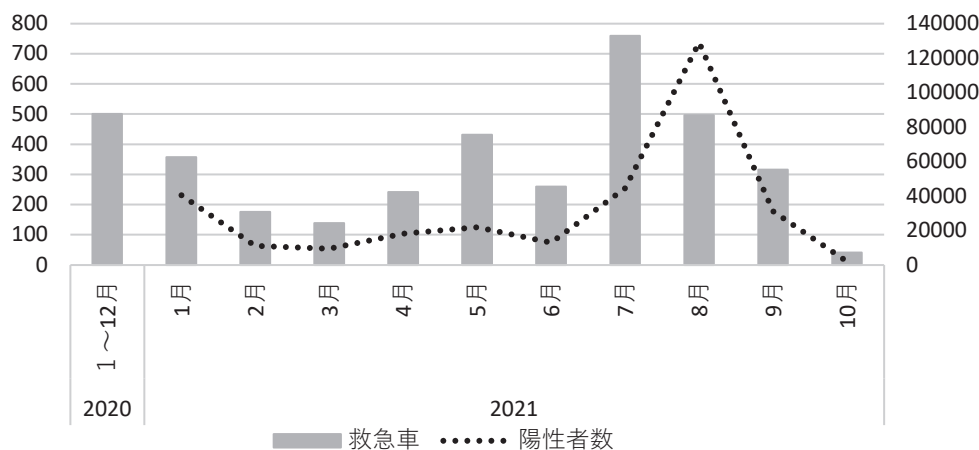


図1 都内陽性者数と消毒出動回数

(作成者 渡邊徹)

総論」を受講頂く必要があり検討している。これに加え、ブロック制度の見直しも求められている。また連絡体制は協会からブロック長、ブロック長から各社へ指示、コールバックとしてきたがコロナ対応レスポンス向上のためラインワークスを採用した。せっかく獲得したツールを今後活用していきたい。

新年度事業計画

- ア 媒介蚊成虫防除演習の実施
技術委員会と共同して当期中に実施する。
- イ ラインワークスの環境整備
コロナ対応手配に活用したシステムを応用したい。
- ウ 感染症予防衛生隊研修会(1回)の開催
基礎からやり直すか先へ進むか
- エ 早期に登録社を確定し、保有資機材の調査により全体の対応力を調査し、水害・媒介昆虫防除、家畜由来感染症対応等求められる事態に備える。

まとめ

新型コロナウイルス感染症について、まだ予断を許さない環境にはあるが、ここまですを振り返りたい。

ほぼ2年にわたり、延べ1万人を超える人材が、年末年始、日祭日、日中・深夜・早朝を問わず、酷寒の深夜、照り付ける灼熱の屋外で、気密性の高い防護服を着用し汗もぬぐえない作業をおよそ5,000件に即応した事例がこれまでにあっただろうか(表1、表2)。

この経験で参加各社が得たものは、感染症対策に関するスキルにとどまらず、年中無休

で臨場できる体制を作り出したマネジメント能力の向上、追いつかない事務処理に起因する支払いの遅延にも関わらずご協力頂いたボランティア精神であり、「公益社団法人」の業務の在り方を身をもって示していただいた。新型コロナウイルス感染症はいずれインフルエンザ並みになると云われる。

デング熱が再興するかもしれない。広範囲な風水害があるかもしれない。家畜由来感染症が流行するかもしれない。O157やノロウイルスも流行するだろう。

いかなる事態が発生しても対応できる素地は形成された。感染症委員会は高い能力を有する各社とともにこれらに立ち向かう決意を確認した。

表1 感染症予防衛生隊の動員数

実施年月		救急車		宿泊施設	
年	月	件数	動員数	件数	動員数
2020	1~12月	500	1,000	196	1,334
2021	1月	357	714	68	423
	2月	176	352	29	172
	3月	139	278	20	117
	4月	242	484	54	327
	5月	431	862	67	391
	6月	259	518	29	180
	7月	760	1,520	19	160
	8月	496	992	31	241
	9月	312	624	23	162
	10月	42	84	5	32
2021	1~10月	3,214	6,428	345	2,205
合計		3,714	7,428	541	3,539
総動員数				10,967	

表2 感染症予防衛生隊の稼働実績

(単位千円)

	救急車	軽症者宿泊療養施設
2020年	67,000	120,000
2021年	379,000	168,000
	446,000	288,000